



石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 11 号
発行日 3月18日(水)
練馬区立石神井南中学校
校長 田 邊 克 宣

「 平常心と危機管理 」

校長 田邊 克宣

3月10日は「東京大空襲」、11日は「東日本大震災」と、忘れてはならない日が続きます。そして今年のこの時期も、やがて忘れられない日となるのでしょうか。新型コロナウイルスへの対処に、世界中で躍起になっているこの日々を。

石南中でも例に漏れず、2月27日の夕刻、突然のニューステロップに端を発し、そこからひっきりなしの電話とメールによる教育委員会、教職員、保護者間の連絡を経て、ようやく翌日のスキー移動教室中止と当面の予定連絡を終えたのが午後の8時23分。まさに怒濤のごとく過ぎた2時間でした。そして翌28日は、急遽決定した一斉休校に対する諸々の準備に追われ、土日を挟んで2日からの休業日に入り、まだ2週間しか経っていないことに、今更ながら驚きの念を隠せません。それだけありとあらゆる想定外の事柄に対処してきたのだと、改めて感じている所存です。そして今しばらくは、この状況が続いていくのでしょうか。

こうした中、石南中生たちの態度は立派でした。2年生に、スキー移動教室中止を申し伝えた時も、生徒たちは皆、動揺することなく、全員が真剣に受け止めていました。その後の参集日にも、各学年共、混乱もなく落ち着いて行動する姿に、石南中生の人間力の大きさを見た思いがいたします。そうした子供たちの姿を通して、各家庭で落ち着いた対応をしてくださっているであろう様子が、手に取るように伝わってきます。数々の急な変更にも関わらず、協力的に応じてくださる保護者の皆様に、深く感謝いたしております。

今後、まだまだ予断を許さない状況の中、情報を正確に読み取り、判断を誤らず、平常心と確かな危機管理意識の下、子供たちの健康と安全を第一に、教職員、保護者、地域が一致団結して、この難局を乗り越えていきましょう。

令和元年度の締めくくりにあたり、これまでの教育活動に加え、喫緊の課題対応に関しての深いご理解とご協力に、心より御礼申し上げ、年度末の挨拶とさせていただきます。

【 学校評価アンケート結果 】

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

以下に概要と結果（抜粋）及び考察を掲載いたします。学校HPと併せお読みください。

1 〔 概 要 〕

- ① 昨年度に引き引き続き生徒・保護者アンケートを実施し、双方の比較による検証を行った。保護者アンケートは86%の回収率であった。

- ② 評価項目として、「あてはまる」「ややあてはまる」を肯定的回答とし、その割合が「90%以上」「80%以上」「70%以上」「70%未満」の4グループに分類し、生徒と保護者との差が5ポイント以上のものを抽出した。
- ③ 評価の高い項目は今後も指導を継続し、評価の低い項目を中心に来年度に向けて教育内容を見直し改善していく。

2〔結果(抜粋)〕※ : 生徒と保護者の間に5ポイント以上の差があるもの

ア 肯定的回答90%以上(単位%)

	生徒	保護者	計
3 学校だよりやHP、学年、学級通信などで学校の様子を知らせている。	91	90	91
10 情報モラルの適切な使用、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。	98	90	94
15 運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。	89	91	90

イ 肯定的回答80%以上

4 清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。	87	88	87
6 評価・評定の規準や方法について説明している。	88	85	87
8 基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。	88	84	86
9 社会生活における規範意識を高める指導を行っている。	89	79	84
11 道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	91	73	82
16 生徒会活動や委員会活動など自主性を育てる指導を行っている。	89	80	85
20 自分は楽しく学校に登校している。	80	86	83
21 安心して通うことができる。	87	88	87

ウ 肯定的回答70%以上

1 教育目標や重点目標は分かりやすい。	71	78	74
2 特色ある学校づくりに取り組んでいる。	79	69	74
7 生徒の学力を適正に評価している。	75	65	70
18 保護者会や三者面談等を通じて家庭への連絡をきめ細かく行っている。	72	69	70

エ 肯定的回答70%未満

5 分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。	76	60	68
12 いじめや不登校の未然防止に努めている。	65	60	63
13 生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。	76	61	69
14 進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。	65	62	64
17 部活動の充実を図っている。	70	54	62
19 地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。	56	52	54

2 [考 察]

(1) 「 学校評価アンケート 」

上記結果で、生徒と保護者の間に 5 ポイント以上の差があるものが 11 項目あり、そのうち、生徒の肯定率の方が高い項目は 9 項目を占めている。(下記)。

11	道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	91	73	18
5	分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。	76	60	16
17	部活動の充実を図っている。	70	54	16
13	生徒の悩みや相談に応える環境を整えている。	76	61	15
9	社会生活における規範意識を高める指導を行っている。	89	79	10
2	特色ある学校づくりに取り組んでいる。	79	69	10
7	生徒の学力を適正に評価している。	75	65	10
10	情報モラル、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。	98	90	8
12	いじめや不登校の未然防止に努めている。	65	60	5

- ・「 11. 道徳 」については、生徒の肯定率が 91% と高く、保護者回答と比べ 18 ポイントの差がある。本校では、今年度から始まった「 特別の教科 道徳 」を踏まえ、特に学校全体で力を入れて取り組んでおり、生徒自身も真剣に授業に臨んだ結果と思われる。
- ・「 5. 分かる授業 」については、生徒が 76% の肯定率であるのに対して、保護者はそれより 16 ポイント低い 60% である。教員の授業力に関しては、今後さらに向上させていくことが課題である。
- ・「 17. 部活動 」については、より充実した活動を目指すことはもちろんであるが、具体的な活動日・時間や内容に関しては生徒・保護者共にさまざまな思い、意見があり、どこに焦点を当てていくかは難しいところである。また、生徒の安全な活動を保証するために二人体制が必要となる顧問の配置や、勤務時間との関係もあり、すべての要望に応えることができない実情がある。今後、「 部活動ガイドライン 」に則りながら、一つ一つの課題を検討し、対応策を講じていく。
- ・「 13. 相談環境 」については、生徒が 76% の肯定率であるのに対して、保護者はそれより 15 ポイント低い 61% である。本校では、全教員が、生徒の悩みや相談に対して真剣に話を聴き、すぐに対応を講じる取組を実践している。思春期の只中にある生徒としては、高い肯定率であるとは思いますが、さらに相談しやすい環境を整えていくことが必要であると考えます。保護者に対しても、常に相談の門戸を広げ、いつでも、どんなことでも、電話一本で応じる旨は、保護者会や学校だより等を通じて伝えており、相談体制を整えている。教員はもちろんのこと、校長への相談についても、すぐに対応することを心掛けている。保護者の意識として、「 正直なところ学校の敷居が高い。 」という声を聞くこともある。生徒のため、子供のために、気になることがあれば、教員と保護者とで、躊躇なく互いに連絡を取り合える関係が大切である。保護者の皆様にも、学校は、遠慮なく相談に来ていただける場であることを改めてご承知おきいただきたい。

- ・「 9. 規範意識 」については、生徒の肯定率が89%であり、「 10. 情報モラル 」については生徒、保護者とも90%以上の肯定率となっているのに対して、「 12. いじめの未然防止 」についての肯定率が生徒、保護者共に60%台である。道徳性の涵養、規範意識の醸成、SNSの適正な使用法を含めた情報モラルの育成は、いずれも「 いじめ 」の未然防止にもつながるものである。生徒がより深く理解し、実践へとつなげていけるよう、方策を講じていく。
- ・「 2. 特色ある学校づくり 」については、引き続き、さらなる向上を目指して取り組んでいく。
- ・「 7. 適正な評価 」については、生徒が75%の肯定率であるのに対して、保護者はそれより10ポイント低い65%である。本校では、都の基準に則り、客観性・妥当性のある評価・評定を実施している。今後も、毎年実施している「 評価・評定研修 」の取組をはじめとして、評価精度を向上させると共に、「 評価説明会 」で保護者に対して丁寧に説明し、理解を深めていただく。

登校日の様子 （3月3日(火)～3月12日(木)）



1年生



2年生



3年生



式練習